








カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																										
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ							6	7								12	13.3	14	15				
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】環境に関する直接的、間接的な取り組みの開示に努める予定。															12.6							
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2										13					
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】木材など天然資源の利用に努め、採用した商材についてはホームページにて公開している。															12.2	13	14	15				
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職や贈収賄があってはならないことを朝礼や会議の場で徹底している。																					16	16.5
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・知財など不正競争行為に関与しないよう社員同士に牽制している。																						16
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産の侵害を起こさないよう注意している。										8.2	9											
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報については、パスワード設定のあるパソコンやシステムにより管理し漏洩に細心の注意を払っている。																						16
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【予定】今後は今まで以上に自社が採用する製品のサプライチェーンを把握に努める。																						16
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】利用している商材の環境に及ぼす影響等について、一層理解を深め、悪影響を及ぼす可能性のあるものを排除していくように取り組む。					5					8		10				12	13	14	15	16	17	
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品やサービスなど利用した場合の注意点や過去にあった事例を共有し、社員同士気を付けている。																	12.4					
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレームや賞賛など良いことも悪いことも会議の場などを利用して共有し、一層満足していただけるよう努めている。																						9
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ								6										12	13	14	15		
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・住宅における開口部の断熱化について、重要性を喚起することに取り組むとともに(須坂まちゼミの開催)、特定の商材を拡販することにより、雨水の地中への浸透による植物・地中生態の改善に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・長野県、特に北信地域において住宅の断熱性を高めることが重要との認識に基づき、須坂まちゼミ開催等により、地域の方への開口部の断熱化について説明し、対話をする機会を設けている。				4						9		11	12		14	15		17	
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後、地域の清掃活動や若年世代との交流を持つことが出来るような機会を創出することに努める予定。				4								11			14	15		17	
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・協力業者や人材について、地元の関係者を優先的に活用している。										8	9		11	12	13				
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念、会社方針を明文化し、掲示しており、会議等の機会に意識の周知徹底を図っている。										8	9								17
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・事業を展開するうえで、法令を遵守することの大切さを朝礼の場などで徹底している。																			16
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】今後、責任者を任命するよう努める。																			16
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・適宜、ステークホルダーとの対話を通じ、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容理解に努めていく。																		16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・IT化を図るうえで、情報リスクに対する備えを実施している。今後は、想定しうるあらゆる分野に対して、リスクマネジメントに努める。																			16
40	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】CSR方針を策定、整備する。																			16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事故や災害発生時の手順を確認し、BCP策定に努める。										9		11			13 13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・将来的な事業承継を見据え、現実に後継候補を育成している。										8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）